



# 中国学方法論について

講師 溝口 雄三 氏

東京大学名誉教授

コメンテーター：劉 再復 氏 (元中国社会科学院文学研究所所長)  
加々美 光行 (ICCS拠点リーダー・本学教授)

概要：

日中関係が矛盾を高める現状の中で、中国研究のあり方がいよいよ問われる状況になっている。日中間に真の相互理解が欠如していることは明らかであり、従来の中国研究がそうした相互理解の促進に十分な働きをなし得ずに来たことは否定しがたい。改めて日本の学界でいち早く中国学の方法論について問題提起をなしてきた溝口教授が問題提起をおこなう。

2005年5月22日(日) 10:00～13:00  
愛知大学車道校舎 本館 10階K1005 教室



- \* 講演は日本語でおこないます。(中国語通訳あり)
- \* 申し込み不要。



【会場までの交通機関のご案内】

名古屋駅から地下鉄桜通線にて「車道」下車。徒歩2分。(名古屋駅より本学までおよそ15分)

【主催】愛知大学国際中国学研究センター

【お問い合わせ先】愛知大学国際中国学研究センター(ICCS)事務室

〒470-0296 愛知県西加茂郡三好町黒笹 370

Tel : 0561-36-5637 (内線 2862) Fax : 0561-36-5422 (内線 2869)

聴講無料